

令和6年度（第1回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和6年12月24日（火）

15：00～16：30

場 所：市庁舎5階 プレゼンルーム

1 事業内容説明・内部評価結果について

【事前評価2】宇佐町・片野新町地区浸水対策事業

～事業課から資料4・資料6に基づき説明～

2 質疑応答について

○構成員

前回も多分同じところで質問させていただきましたが、スライド21のシミュレーションで、浸水しないようにと思って工事をしたにも関わらず、ここは全然改善できてないじゃないかというようなことがないようにしなければいけないと思っています。

スライド11の平成30年の被害のところを見ると、⑤片野新町が最大浸水深0.8メートルで値が一番大きいですが、シミュレーションを見ると一番被害が大きいのはスライド11でいうところの①宇佐町かと思います。

このシミュレーションの結果を見ると、今回整備の規模や場所は本当に予想通りというか、対策後のような状況に持ってこられるかというのがちょっと心配です。本当ならスライド21のシミュレーションの現況の方の片野新町は真っ赤じゃないとおかしいのではないかと思うのですが、黄緑なので現状を適切に反映できてないのかもしれないと思ってしまいました。

ですので、把握できていないものがあるとか、シミュレーションなのでこれは誤差の範囲だとか、シミュレーション結果の細かい結果には関係なく今回の工事が十分に効果があるということであればいいですが、多分皆さんはこれでやっと浸水被害がなくなると期待されているのに、工事後も豪雨時に浸水したとなったら、せっかく費用をかけて工事をしたのに期待外れであった、という結果になってしまうと思います。どうでしょうか、この浸水対策に余裕はありそうですか。

●事業課

この内水浸水につきましては色々な要因がありますが、まず一つ目としまして、もともとの宇佐町というエリアについては、近くに砂津川という河川があり、通常の10ミリ20ミリの雨の場合はそちらの方へ流すルートがあります。この砂津川は結構早く水位が上がってしまっていて、流せなくなるということもございまして、このエリアの対策としまして近くに神嶽ポンプ場というのがありますが、そちらの方へ雨水を導

いてきて、強制的に神嶽川へ流すというような対策をとってきました。

ただ、今度は神嶽川の方が氾濫の危険性が非常にありますので、特に雨が激しく降ると、最後は貯留するしかないということで、考えたものであります。ですので、そういった事情を反映させながらポンプの能力であるとかをシミュレーションに合わせてきたつもりですが、いずれにしてもこの宇佐町地区については内水氾濫の危険性が高いというものとなっております。

もう一つ、片野新町地区につきましては、確かに構成員が言われるように、あまり色がついてないということが見受けられますが、実は既存の下水道管の口径が小さくて、流しきれずにマンホールから溢れてしまうことがありますので、それについてはショートカットして神嶽川に流すというような手法を考えております。確かにシミュレーションとしては色が薄いですが、手前の方から神嶽川に流すということで、浸水対策としては十分な効果が発揮できるのではないかとこのように考えております。

○構成員

今ちょうど出していただいているスライド 21 ですが、今回の事業でこの地域の浸水被害を抑えるというところと、あとはメディアドームが避難所になっているところととても大きいと思いますが、対策をしてもメディアドーム付近の浸水が残るのが少し気になるところです。

このシミュレーション結果では影響がないというふうに考えていいのだろうとは思いますが、避難所付近の浸水が残るというのはやっぱり一番気になるのですが、その点はいかがでしょうか。

●事業課

確かにメディアドームは、市民が避難する場所です。そこの前が道路冠水したら避難できない場合も想定されます。今回の雨水整備には含まれておりませんが、おそらく道路から下水に入る柵が少なく、うまく下水に取り込んでないというものだと思いますので、その辺については道路部局と協議をしながら、道路に残っている雨水を下水に速やかに流せるような柵を増やすとか、そういう対策を考えていきたいと思っています。確かに市民が避難する場所で道路冠水してしまうと、避難所に入れなくなってしまうので、トータルとして考えていきたいと思っています。

○構成員

もう一つは、このメディアドームが避難所になっているということで、避難所のような重要施設に接続するような管路については耐震化とか、あとは水道・下水道ともに耐震化を一体でやっていくことが求められているところだと思います。

今回雨水というところですが、例えばこの周辺の耐震化はまだ整備途中とか整備はこれからというようなところであれば、例えば一緒に合わせてやっていくことによって、費用を少し削減できる余地というのはあるのでしょうか。

●事業課

能登半島地震も含めて、その際に水道施設、下水道施設、避難所や総合病院等に結

ぶ管については、急所施設に位置付けられておりました、耐震化については、下水道としましては目標として約 50%程度を掲げております。同一断面で工事ができれば相乗効果というのがはっきりしますが、下水道管は2メートルぐらいの管を少しずつつなげて整備しており、どうしてもその継ぎ目が弱いということで、管の更生工事といまして、管の中にもう一つ管を挿入するというやり方で耐震化を行っております。ですから、今回の相乗効果というのは発生しませんけども、このエリアは重要な拠点施設がありますので、耐震化等も含めて一体的に進めていくことを検討していきたいと思っています。

○構成員

管の中で耐震化していくと口径が小さくなっていくので、そうすると、ここは合流式ですので、水の流れも含めてシミュレーションされているというふうに理解してよろしいですか。

●事業課

コンクリート管は表面がザラザラしておりました、粗度係数というのがありますがこれが0.013ぐらいですが、それをプラスチック製の固い材料で内面を更生していきますが、粗度係数が0.010になって滑りやすくなるということもありまして、管の口径がワンランク小さくなくても流量としては変わらないということで、管更生を進めております。耐震化をすることによって能力が下がるというものはないというふうに考えております。

○構成員

スライド 19 について、発進立坑の設置を三萩野公園の一部を使用というところですが、今の時点で三萩野公園のどれぐらいの広さといえますか、安全に作業できる状況を確認されているのか教えていただければと思います。といいますのも、三萩野公園、メディアドーム横の公園に関しては、例えば市民球場でスポーツ関連のイベントがあったりですとか、メディアドームで大きな大会等があったり、それから三萩野公園自体でも例えば北九州サイクルフェスティバルだとか、幾つかのイベントで年に何回かはかなり多くの市民の方が入られるような場所であると思いますし、普段からこの辺りは路上駐車をしている車が結構多い場所でもあると理解しています。テニスコートとメディアドームとの間の道路ですね。そういったようなことも考えると、いろいろ市民生活への影響もあるのではないかと思いますので、そのあたりを教えてくださいたいです。

●事業課

今回の発進立坑は、メディアドーム前の緑地の方で考えておりました、場所としましては、現在駐車場となっているところを約 1500 平米から 2000 平米程度を考えております。

ただ、そういった市民の利便性もありますことから、横に代替駐車場を作りまして、駐車場機能は確保しながら、それから市民に説明しながら進めていきたいと考えてお

ります。

○構成員

工事車両の出入りとかはあちらの道路の方がいいだろうというところですよ。あと、この駐車場はどこかの指定管理になっているかもしれません。そうであれば指定管理者の重要な財源にもなっているかと思しますので、その辺についても配慮していただきたいところです。

●事業課

指定管理者の財源となっているのであれば、それを確保しながら、また理解を得ながら進めていきたいというふうに考えております。

○構成員

コスト縮減のところの部分で、発生土を公共事業で再利用できるように照会を図っていくと書かれています。大体の見込みの金額があれば教えていただきたいというのが一つと、スライド 18 に地元の関係者の方たちと協議をしており書かれています。どの範囲の方たちと、どういった形で協議をされているのかをお伺いしたいと思います。

●事業課

まず、1 点目のコスト縮減ですが、この事業の中でコスト縮減を図る内容としましては、三萩野公園等に立坑を作る中で 9000 立米程度の土砂が出てくるわけですが、このうち 3000 立米の良質であろう土砂については、他の建設工事等での活用を検討していきたいと思っております。具体的には市の関連部局に活用・再利用を照会していきたいと思っております。金額としましては、おそらく 1500 万円程度が軽減できるものというふうに考えております。

2 点目のスライド 18 についてですが、我々としては、これまでも浸水被害が発生しているということで、地元との協議、会長さんですが、話を進めております。これまでも少しずつ雨水管の整備等をやってきたわけですが、今回は抜本的な対策を取らないといけないということで、昨年度事前評価 1 を行いましたが、こういった整備手法を用いて対策を行いますという説明を今重ねております。そういった中で今回の整備に対する期待感というものは非常に大きいと考えておりました。ぜひとも事業を進捗させ、安心な暮らしを提供したいと思っております。内容的には、今回こういうふうな抜本的な整備を行うことについて説明を行っております。

○構成員

その中でも、音とか振動とか、期間が長いことに対して反対を言われる方はいらっしゃらないのですか。

●事業課

反対の声というのはほとんどなくて、逆に言うと、出水期の間は雨が降るとやはり

怖いというような意見が多いと感じております。

○座長

私からは、当初見込みからすると地下埋設物があったことに関してのコスト増についてです。事前の段階でどのように調査をするか、それをふまえてどう見積もるかというところについて工夫が必要という意見を述べさせていただきたいと思います。

////////////////////////////////////

○座長

それでは、構成員の皆様から意見をいただいたところですが、基本的にこの事業の必要性や実施に関わるご質疑はなかったかと思えます。

ここで改めて確認させていただきますが、この事業を計画通り進めていくことについてのご異議・ご質問・ご意見等はございますか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、この事業につきましても計画どおり進めていくことを前提とした上で、皆様からの意見を整理いたします。

まず、工事を完了したとしても、シミュレーション上は若干の道路冠水が残るということですので、それにつきましては道路部局を含めてほかの事業課と調整を図っていただき、できるだけ浸水が少なくなるような方法を検討いただきたいということです。加えて、それでも雨の降り方は色々あるため、決して水害がなくなるということではないので、住民の方とはリスクについて十分なコミュニケーションをとっていただきたいと思います。

それから、浸水については事前予測がつきますので、避難についても十分なコミュニケーションをとっていただきたいというのが一つ目の意見です。

二つ目は、公園の利用者や指定管理者の方とも十分なコミュニケーションをとっていただきたいということです。

三つ目は、事前の調査をしっかりとるような仕組みを市全体として検討いただきたいということです。

今、皆様からいただいた意見はだいたいこういうところに集約できるかと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

はい、ありがとうございます。

具体的な記載内容については座長の私がお預かりして、事務局と調整させていただきます。

本日の会議資料及び議事録については、後日、市のホームページに掲載することと
します。

議事録については、私が事務局と調整させていただきます。